



2018年8月2日

各 位

会 社 名 山陽特殊製鋼株式会社
代表者名 代表取締役社長 樋口 眞哉
(コード：5481 東証第一部)
問合せ先 総務部長 松ヶ下 昭人
(TEL. 079-235-6003)

Ovako AB 社の買収（子会社化）に関するお知らせ

当社は、欧州向けを中心に特殊鋼を製造・販売し、同地域最大規模の生産能力を有する Ovako AB 社（所在地：Kungsträdgårdsgatan 10, Stockholm, Sweden、代表者：Marcus Hedblom。以下「Ovako」といいます。）の完全親会社である Triako Holdco AB（所在地：c/o Ovako AB Box 1721, 111 87 Stockholm, Sweden）の発行済株式（以下「Ovako 株式」といいます。）の全部の取得を行うこと（以下「本株式譲渡」といいます。）について、新日鐵住金株式会社（以下「新日鐵住金」といいます。）との間で合意いたしましたので、お知らせいたします。

なお、本日、当社と新日鐵住金は、連名で公表したプレスリリース「新日鐵住金株式会社による山陽特殊製鋼株式会社の子会社化等に関する契約の締結について」に記載のとおり、本日開催のそれぞれの取締役会決議に基づき、本日付で契約（以下「本子会社化等に関する契約」といいます。）を締結しております。今後、両社は、本子会社化等に関する契約に基づき、2019年3月28日に、以下の取引を実施する予定です。

- ①当社が Ovako 株式の全部の取得のための資金調達を目的に行う、新日鐵住金を引受人とする第三者割当増資（以下「本第三者割当増資」といいます。）。これにより、新日鐵住金の当社に対する議決権所有割合が、本第三者割当増資前の 15.3%から 51.5%（2018年3月31日現在の当社の株主名簿を基準に算出しており、また、新日鐵住金の連結子会社による間接所有分を含みます。）となり、その結果、当社は新日鐵住金の連結子会社となります（以下「本子会社化」といいます。）。
- ②本株式譲渡（以下本子会社化と併せて「本子会社化等」といいます。）。

なお、本子会社化等については、本日、当社と新日鐵住金が連名で公表したプレスリリース「新日鐵住金株式会社による山陽特殊製鋼株式会社の子会社化等に関する契約の締結について」により、本第三者割当増資については、本日、当社が開示した「新日鐵住金株式会社に対する第三者割当による新株式の発行及び親会社の異動に関するお知らせ」により、別途開示しております。

本株式譲渡は、本第三者割当増資が実施されることを前提としており、本第三者割当増資により調達する資金を Ovako 株式の全部の取得のための費用に充当することを予定しております。また、本子会社化等は、本子会社化について国内外の競争当局の承認を得られること、本第三者割当増資について 2019年2月に開催予定の当社の臨時株主総会でのご承認を得られること等を条件としております。

1. 株式の取得の理由

Ovako は、スウェーデンに本社を置き、軸受鋼等で世界トップレベルの高精浄度鋼技術を有する特殊鋼メーカーです。欧州の産業機器メーカーや自動車部品メーカー向けを中心に、軸受鋼等の高品質の特殊鋼製品を製造・販売しており、同地域において確かな存在感を築いております。Ovako は、2018 年6月1日より新日鐵住金の完全子会社となり、現在に至っております。

世界の鉄鋼マーケットは、長期的には需要の着実な増加が見込まれる一方、日本国内の人口減少、世界的な保護主義化の動き、お客様のグローバル展開に伴う現地調達化の進展、自動車の車体軽量化・高強度化ニーズの高まり、EV などの新エネルギー車の普及、再生可能エネルギーの利用拡大、製造業・サービス業におけるロボット活用など、社会・産業構造の変化に直面しております。

このような中、新日鐵住金及び当社が手がける特殊鋼製品は、自動車・産業機械・風力発電・ロボット等の様々な産業における重要部品の素材として使用されており、今後も堅調な需要の伸びが期待されるとともに、高品質な特殊鋼製品のニーズはより一層高まっていくものと考えられます。一方、特殊鋼マーケットにおける国内外の競争は激化しており、技術力・商品開発力・コスト競争力を強化し、国内外の競合者に対する優位性を強化・拡大することが両社の特殊鋼事業にとって必要であると認識しております。

両社は、自動車分野をはじめとした国内外のお客様のグローバル化の進展及び高品質な特殊鋼製品のニーズに応え、それぞれの特殊鋼事業の中長期的な競争力強化を実現するためには、Ovako を含めた3社の事業基盤と技術力・商品開発力・コスト競争力を融合することにより、グローバル事業展開に向けた体制整備と高品質な特殊鋼製品への対応力強化を進めることが必要であると考え、その具体的な方法として、当社を新日鐵住金の連結子会社とすること、及び新日鐵住金の完全子会社である Ovako を当社の完全子会社とすることを決定いたしました。

当社としては、特殊鋼マーケットにおける国内外の競争が激化する中、欧州における有数の特殊鋼メーカーである Ovako を当社の完全子会社とすることによって、世界的にも有力な市場の一つである欧州市場において当社が確固たる足掛かりを確保するとともに、Ovako との緊密な連携を通じて、特殊鋼における技術・品質・商品開発力を一層強化することで、特殊鋼事業のグローバル展開を推し進めることが可能になると判断いたしました。両社の強みである世界トップレベルの高精浄度鋼製造技術の融合、営業・販売・物流ネットワークの相互活用等を通じて、グローバルマーケットにおける特殊鋼製品とりわけ軸受鋼分野での更なる競争力強化を図ってまいります。また、当社は、新日鐵住金グループの一員となることで、持続的な成長と中長期的な企業価値の最大化を図るためのより安定した経営基盤を構築することが可能となります。

一方、新日鐵住金は、当社をグループに加えることで、特殊鋼事業における国内主要製造拠点である八幡製鐵所、室蘭製鐵所等を含めた特殊鋼分野全体での最適生産体制の構築や資機材等の調達コスト削減を進め、新日鐵住金グループの強みである技術力・コスト競争力を一層高めてまいります。

新日鐵住金及び当社は、本子会社化等の実現により、新たに当社を加えた新日鐵住金グループとして「総合力世界 No.1 の鉄鋼メーカー」の地位を強化し、持続的な成長と中長期的な企業価値の向上を図ってまいります。

2. 対象会社の概要（2018年6月現在）

(1)	名 称	Ovako AB		
(2)	所 在 地	Kungstradgardsgatan10, Stockholm, Sweden		
(3)	代表者の役職・氏名	Marcus Hedblom (CEO)		
(4)	事 業 内 容	特殊鋼及び二次加工製品の製造・販売		
(5)	資 本 金	60,000 ユーロ		
(6)	設 立 年 月 日	2010年7月2日設立		
(7)	大株主及び持株比率	新日鐵住金株式会社 100.0%		
(8)	当社と当該会社との間の関係	資 本 関 係	該当事項はございません。	
		人 的 関 係	該当事項はございません。	
		取 引 関 係	該当事項はございません。	
(9)	当該会社の最近3年間の連結経営成績及び連結財政状態			
	決算期	2015年12月期	2016年12月期	2017年12月期
	連 結 純 資 産	133.0 百万ユーロ 17,290 百万円	113.0 百万ユーロ 14,690 百万円	114.3 百万ユーロ 14,859 百万円
	連 結 総 資 産	690.1 百万ユーロ 89,713 百万円	703.0 百万ユーロ 91,390 百万円	742.8 百万ユーロ 96,564 百万円
	1 株 当 たり 連 結 純 資 産	2,660 ユーロ 345,800 円	2,260 ユーロ 293,800 円	2,286 ユーロ 297,180 円
	連 結 売 上 高	834.1 百万ユーロ 108,433 百万円	780.8 百万ユーロ 101,504 百万円	921.3 百万ユーロ 119,769 百万円
	連 結 営 業 利 益	0.6 百万ユーロ 78 百万円	9.0 百万ユーロ 1,170 百万円	55.7 百万ユーロ 7,241 百万円
	当 期 純 利 益	△19.1 百万ユーロ △2,483 百万円	△16.7 百万ユーロ △2,171 百万円	15.2 百万ユーロ 1,976 百万円
	1 株 当 たり 当 期 純 利 益	△382 ユーロ △49,660 円	△334 ユーロ △43,420 円	304 ユーロ 39,520 円

(注1) 為替レート前提 130 円/ユーロ

(注2) 2015年12月期の連結総資産については、過年度遡及修正前の数値を使用しています。

3. 株式取得の相手先の概要

(1)	名 称	新日鐵住金株式会社
(2)	所 在 地	東京都千代田区丸の内二丁目6番1号
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 進 藤 孝 生
(4)	事 業 内 容	1. 製鉄事業（鉄鋼製品の製造・販売） 2. エンジニアリング事業 3. 化学事業 4. 新素材事業

	5. システムソリューション事業		
(5) 資本金	4,195億円(2018年3月31日時点)		
(6) 設立年月日	1950年4月1日		
(7) 大株主及び持株比率 (注1)	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)		4.5%
	日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)		4.3%
	日本生命保険相互会社		2.8%
	住友商事株式会社		2.1%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)		1.9%
	株式会社みずほ銀行		1.8%
	STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234		1.7%
	株式会社三井住友銀行		1.7%
	明治安田生命保険相互会社		1.6%
	日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口9)		1.6%
(8) 当社と当該会社との関係	資本関係	当社が所有している当該会社の株式数	577,159株
		当該会社が保有している当社の株式数	4,905,481株
	人的関係	当社の監査役に当該会社の常務執行役員1名が就任しております。	
	取引関係	当社と当該会社との間で、2006年2月の業務提携の合意に基づき、鋼材の生産を相互に受委託しております。	
	関連当事者への該当状況	該当事項はございません。	

(注1) 2018年3月31日現在

(注2) 当該会社が保有している当社の株式の数には、間接保有として新日鐵住金の連結子会社である日鉄住金物流株式会社(新日鐵住金の議決権所有割合:100.0%)及び日鉄住金テックスエンジ株式会社(同:100.0%)が保有する株式も含まれます。

4. 取得株式数、取得価額及び取得前後の保有株式の状況

① 異動前の保有株式数	0株(保有割合:-%)
② 取得株式数	100,000株
③ 取得価額	67,235百万円
④ 異動後の保有株式数	100,000株(保有割合:100.0%)

5. 日 程

(1) 取締役会決議日	2018年8月2日
(2) 契約締結日	2018年8月2日
(3) 本株式譲渡実行日	2019年3月28日(予定)

6. 今後の見通し

本株式譲渡は2019年3月28日を目途に完了する見通しであり、本株式譲渡が当社の2019年3月期業績に与える影響は軽微となる見込みです。また、来期以降の業績に与える影響は未定です。

以 上

(参考) 当期連結業績予想(2018年8月2日公表分)及び前期連結実績 (単位:百万円)

	連結売上高	連結営業利益	連結経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益
当期連結業績予想 (2019年3月期)	185,000	10,000	9,500	8,000
前期連結実績 (2018年3月期)	157,485	10,969	10,659	7,034